

市長（山田憲昭君）

文化振興計画についてお答えをいたします。

詳細な計画を二、三年かけて策定する自治体もございますが、計画の策定が文化事業を実施する上での縛りとなり、柔軟な対応ができない可能性もあるため、本市では、文化振興条例の中では計画策定について言及はしてはおりません。

それにかわるものとしたしまして、現在、策定作業を進めている第2次総合計画の中に、本市の文化振興の方針をしっかりと盛り込んでいきたいと考えております。

次に、文化創生基金についてであります。

県内の市町では初となる文化振興条例の制定にあわせ、財政的に支援を行うため、文化振興事業補助金の制度を拡充いたしたところであります。まずは、こうした取り組みをしっかりと進めていくということが肝要であるというふうに考えております。

基金には大きな財源が必要でありますので、市の財政規模ではなかなか難しいというふうに考えております。ただ、ふるさと納税の活用など、身の丈に合ったやり方はあるのではないかなというふうに考えております。一層研究してまいりたいというふうに思っております。